



VOL. 26
2022年10月発行
秋田市少年指導センター
TEL884-3869



代表者会議 三専門部会 開催!!

令和4年8月25日、令和4年度第一回代表者会議と専門部会を開催いたしました。

代表者会議

各地区新体制の会長・事務担当者による代表者会議を行いました。各地区少年指導委員会の活動状況について、コロナ禍の中、十分な活動は出来ていないものの、徐々に活動を再開し、あいさつ運動を行っている旨や11月の「子ども・若者育成支援推進強調月間」に向けたキャンペーンの計画など報告いただいた他、事務局からお知らせの後、閉会となりました。

各地区の会長・事務長 紹介
(敬称略)

地区名	会長	事務長
中央第一	森 洋	稲岡 万紀子
中央第二	菊地 峯生	岩谷 文子
土 崎	浅野 義信	鎌田 法子
西 部	齋藤 正	古谷 尚子
東 部	船木 勇一	工藤 明美
南 部	鳥井 修	小松 友子
北 部	菅原 琢哉	鈴木 田鶴子
河 辺	鈴木 克幸	佐々木 久美子
雄 和	永澤 淑彦	佐々木 昌子

専門部会

代表者会議終了後、三つの専門部会を開催しました。各部会では部会長・副部会長が選出され、「巡回指導部会」は川口雅丈委員、「環境浄化部会」は進藤司委員、「広報部会」は高橋政子委員がそれぞれ部会長に決定し、今後の活動計画について話し合いが行われました。

「巡回指導部会」では定例や特別巡回のコース等の検討について、「環境浄化部会」は、環境浄化に関する研修会の開催について、そして「広報部会」は“広報わかくさ”の発行について、それぞれの計画が話し合われ、専門部会としての活動がスタートしました。



7月は「社会を明るくする運動強調月間」

法務省は、7月を“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～の強調月間とし、全国的な運動を展開しました。「社会を明るくする運動」とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

第72回社会を明るくする運動 秋田市推進委員会では、7月13日・14日に、広報車で市内を巡回し、内閣総理大臣のメッセージの伝達と広報活動を行い、多くの方に周知を図ることができました。



広報活動の様子



内閣総理大臣メッセージの伝達

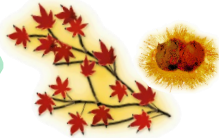
夏の特別巡回を実施しました！

- 今回は3年ぶりの巡回でした。以前より出店も人出も6割程度で、問題のある行動はありませんでした。コロナ感染者の増加により、声かけはせず、見て回りました。（7月20日・土崎曳山まつり・土崎地区）
- 例年に比べると、人出の少ない会場でした。巡回は、人混みを避け、会場近辺の巡回をしました。途中で携帯電話を拾い、本部席まで届けました。（8月4日・竿燈まつり・中央第二地区）



東部地区少年指導委員会 竿燈まつり特別巡回の様子

巡回日誌から



- 夏休みの長い後の初登校日。大きな作品を抱えながら登校してくる子どもたちは元気に挨拶を返してくれた。コロナ禍、マスクをしながら、また制約の中での学校生活、まずは無事にそして楽しく元気にと願っています。（8月25日・寺内、泉、八橋小学校朝のあいさつ運動・中央第二地区）



- オーパB1Fにあったプリクラは、5Fに移動となっていました。高校生の姿が多く見られました。特に、芝生広場、オーパB1Fのゲームセンターと5Fのプリクラは賑わっていて、笑顔が目立ちました。また、友達と一緒に多く、一人で沈んでいる子どもはいませんでした。挨拶をすると、返してくれ、問題はありませんでした。（8月29日・秋田駅前・定例巡回）
- ウェスターを出発し、日吉神社から表町を抜けて新屋駅方面を巡回しましたが、子どもたちの姿は見られませんでした。駅前に高校生1名の姿があったくらいです。特に問題になるようなことはありませんでした。（9月16日・ウェスター、日吉神社、新屋駅前付近・西部地区）



わかくさ相談電話より



わかくさ相談電話では、少年に関する悩みや心配事の相談に応じます。友達、学校、勉強、進路、家族のことなど、ひとりで悩まず相談してみてもいかがでしょうか。来所も可能です。ぜひお気軽にご利用ください。

わかくさ相談電話 018-884-3868



お知らせ



11月1日(火)～30日(水)
「子供・若者育成支援推進強調月間」
地区少年指導委員会キャンペーン実施

11月16日(水)
「少年指導委員研修会」
14時 アルヴェ2階 多目的ホール

12月中旬
秋田駅前での年末特別巡回
(巡回指導部会委員)



11月20日(日)～26日(土)

「あきた家族ふれあいウィーク」

家族の絆や温もりを見つめ直し、社会基盤となる家庭の大切さを再認識するため、家族でのふれあいの時間を取ることを推奨された一週間★

お忙しいご家庭でもたまには家族全員で時間をかけて、ゆっくり食事を取りながら、家族の絆を深めてみてはいかがでしょうか♪